

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### A. コースワークの充実・強化

#### ②分野横断的な科目群、副専攻科目群等の充実

##### ●大阪市立大学生活科学研究科生活科学専攻食・健康科学コース

##### 「地域ケアを担う Ph. D. 臨床栄養師の養成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

臨床現場において、管理栄養士に求められる高度な臨床医学的知識と経験を涵養すべく、医学部の協力を得て、医学部4回生に対する臓器別系統講義、全54回の講義を受講した。本系統講義の受講によって、医師国家試験レベルの基礎的臨床知識を、系統的に学ぶことができた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

生活科学部4年間で教育される医学的知識では、特に臨床医学面での知識が不十分で、医学部での系統講義を理解するのに、医学用語、カルテ用語などへの習熟が必須と考え、医学部系統講義受講前に補講として計10回、臨床研修医向けのテキストを用いて臨床医学的基礎知識、常識に関する講義を行った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

臨床医学の基礎講義を系統的に受けることで、大学院生の臨床医学的への理解が進み、NSTにおける患者栄養サマリーの記述も受講前後で格段に進歩し、他職種のコメディカルスタッフ(看護師、薬剤師、臨床検査技師など)にも理解してもらい得る記述ができるようになった。また、臨床栄養学的な学会発表、論文の執筆に関しても、系統的臨床医学的知識が基盤あるため、他の医療職にも遜色のないレベルの発表、論文が可能になった。

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### B. 円滑な学位授与の促進

#### ①複数教員による多面的な指導体制の整備

##### 《医療系》

#### ●大阪市立大学生活科学研究科生活科学専攻食・健康科学コース

##### 「地域ケアを担う Ph. D. 臨床栄養師の養成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

病院や老健施設での臨床的問題に関して研究をする際、現場の医師、看護師、理学療法士など多職種のエキスパートの方に指導していただいた。また、患者の栄養学的状態と QOL の関連を解析する際には、当研究科の臨床心理学の教授より患者心理面の解析に関して指導を受けた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

臨床現場、介護現場で実際に起こっている臨床栄養学的課題を研究テーマにすること、実地の現場でそれぞれの分野の専門家にきめ細かい指導をしていただくことで、解析のレベルが格段に向上し、学会発表、論文執筆に際しても、それぞれ当該学会の要求するレベルに合致した発表が可能となった。当学会内のみで、管理栄養士という単一職種の教員、学生間のやりとりでは生まれなかった新知見を多数得ることができた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

本プログラムで、多職種の方と共同研究を通じて積極的に交歓し、当該院生も得るところが非常に大きかったが、多職種の方にも管理栄養士の臨床栄養学的知識やスキルの重要性を理解していただく機会にもなり、職種間の垣根を越えた共同研究や共同プロジェクトが生まれ、病院や介護施設の活性化にも貢献した。